

SEIKO 時計専用 簡易型防水試験器 S-480

使用手順書 ①
「取扱説明書」は必ずお読みください。

- 【事前点検】**
- 構成部品が揃っていることを確認します。
 - 透明アクリル槽に傷、ひび、しわ、変色等異常なところがないことを確認します。

セッティング

- 1 スペースを防水試験器に取付けます。(時計1個の場合)
- 2 水位マーク(時計が水面に触れない位置)まで水を入れます。
- 3 時計のバンドを外してパネ棒又はピンだけにし、時計ハンガーに時計を取付けます。
- 4 内部操作レバーを蓋に密着する位置まで引き上げ、レバー固定具を回し「ロック」します。
- 5 蓋取り付け口にOリングがあることを確認し、蓋を取付けます。
- 6 クランプを取付け、クランプねじをしっかりと締め付けます。
- 7 減圧流量調整弁を閉じます。
- 8 ミニガスカートリッジをスタンドに差し込みます。
- 9 チューブを加圧流量調整弁とジョイントに差し込み接続します。
(注) チューブを外す場合は、差し込み口を押しながらチューブを引き抜いてください。

加圧操作

レギュレーター

加圧流量調整弁

1 加圧流量調整弁を開き、ゆっくりと加圧します。

2 加圧の基準

3-5 気圧防水	所定の圧力になったら、加圧流量調整弁を閉じ10分以上放置してください。 加圧するガスは炭酸ガスであるため水に溶解し、水槽内の圧力は徐々に低下します。加圧流量調整弁を開き圧力調整を行ってください。
10 気圧防水	加圧流量調整弁は開いた状態で10分以上放置してください。 (注)レギュレーターの構造上、使用できる最高の圧力は変化します。 (注)「温度-圧力換算表」に従って圧力調整を行ってください。又、万が一規定の圧力(10.19kgf/cm ²)を越えてしまった場合は圧力調整を行ってください。

Point 加圧する炭酸ガスは水に溶解し易い性質を持っているため、水槽内の圧力は徐々に低下していきます。その為、圧力が安定するまで、まめに圧力調整を行うのがポイントです。

(圧力の調整)

圧力の調整は加圧流量調整弁、減圧流量調整弁を併用して行ってください。
(レギュレーター側) (防水試験器側)

減圧操作

- 1 加圧流量調整弁が閉じていることを確認します。
- 2 レバー固定具の「ロック」を解除し、内部操作レバーを押し下げ時計を水中に入れます。

(内部操作レバーのロック)

- 1) 2つの合マークが合うように内部操作レバーを下まで下げます。
- 2) 内部操作レバーを回し、レバー固定ピンで「ロック」します。
- 3) レバー固定具を右へ回し「ロック」します。

- 3 減圧流量調整弁を開き、ゆっくりと減圧します。
- 4 内部操作レバーを左右に振り、時計に付着した気泡を取り除きます。

- 5 レバー固定ピン、レバー固定具の順で「ロック」し、内部操作レバーを固定します。